

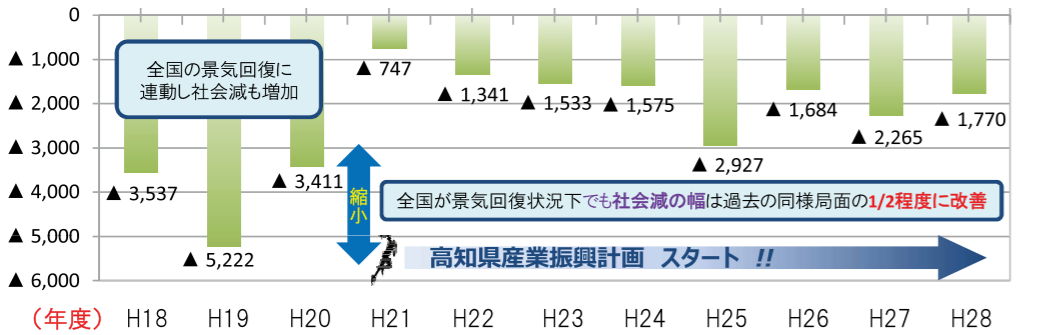
5 目指す将来像の実現に向けた今後の戦略の方向性

① しかし、まだなお残る課題

9～10ページのような一定の成果ができていますが、依然として、**正社員の有効求人倍率の低さ**（過去最高とはいえ0.68倍(H28.12月)）や**地域間・職種間の求人の格差**といった課題があることに加え、人口面では目標に比して次のような厳しい現状にあります。

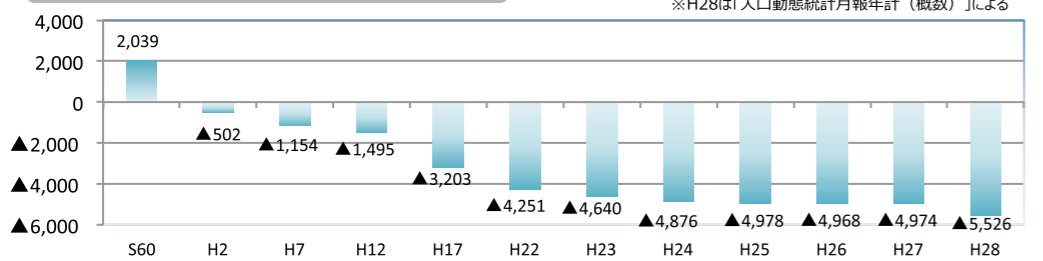
目標① 人口の社会増 ▶ H31:社会増減ゼロ

現状① 人口の社会減が続く

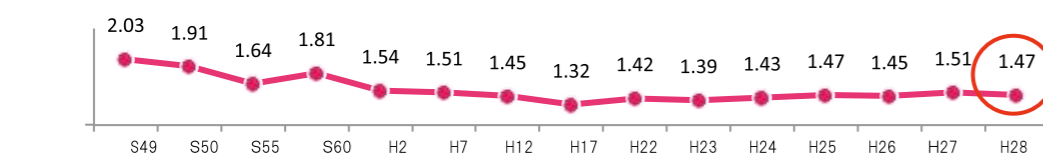


目標② 人口の自然減の緩和 ▶ H31:1.61 H62:2.27 (出生率の向上)

現状② 人口の自然減が進む



現状③ 合計特殊出生率が依然低迷



② 県勢浮揚には中山間地域の振興が不可欠!

農業や林業といった第一次産業はもとより、観光の面でも貴重な資源を有するなど、**中山間地域こそ高知県の強み**があります。中山間地域の振興なくして県勢浮揚はなし得ないものと考えています。

- 面積人口**
 - 全34市町村が中山間地域を有する (27市町村は全域)
 - 県面積の約93%
 - 県人口の約39%
- 出生率**
 - 四万十町1.68、土佐町1.61、芸西村1.56 (高知市1.35)
- 農業産出額**
 - 中山間地域が約8割を占める (全国は約4割)
- 自然、歴史や文化**
 - 全国に誇れる豊かな自然、歴史や文化の宝庫

人口減少の現状 S35:537,327人 ⇒ H27:285,379人 約47%減

目指す将来像の実現に向けた今後の戦略の方向性

目指す将来像

地産外商が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県

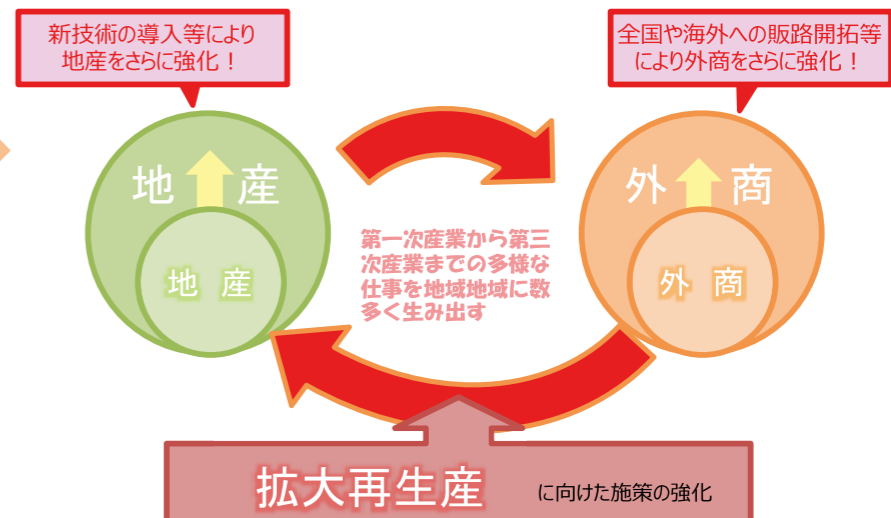
将来像の実現のためのポイント

I 拡大してきた「地産外商」をさらにより確実に「拡大再生産」につなげる + **II 地域地域を大切にする**

I 第3期産業振興計画

【戦略の方向性①】

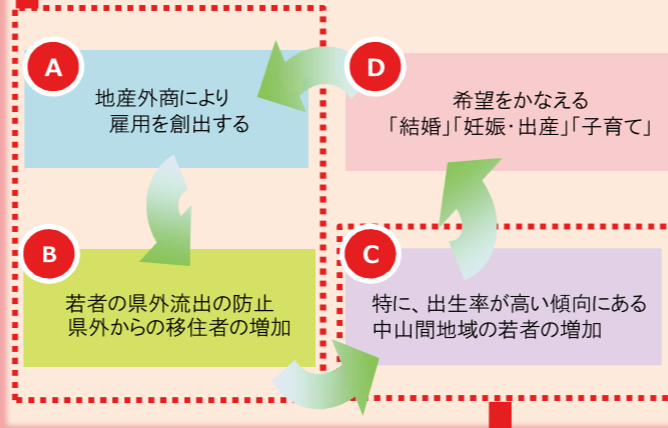
「地産外商」を一層強化し、さらに「拡大再生産」の好循環につなげることをこれにより、多様な仕事を創出し、若者の流出防止を図る



次の3つのポイントで施策を抜本強化することにより、「拡大再生産」への流れをより大きなものにしていく ※詳細はp.21～p.26へ

- 強化ポイント① 時間軸的な拡大再生産**
担い手の育成・確保
- 強化ポイント② 量的な拡大再生産**
地域産業 クラスターの形成
- 強化ポイント③ 質的な拡大再生産**
起業や新事業展開の促進

(再掲)人口減少の負の高知県のスパイラルの克服に向けた取り組み



II 中山間対策

【戦略の方向性②】

三層構造の政策群により、中山間地域の持続的これにより、中山間地域出生率の向上、本来の発展を目指すにおける若者の増加、強みの伸張を図る

◆集落活動センターの開設状況
H29.4.2現在 25市町村 38カ所で開設

第三層 集落機能を支える仕組みづくり 集落活動センターを核とした 集落の維持・再生の仕組みづくり (目標130箇所)

第二層 成長戦略や地域からの発案を地域で具体化する取り組み 地域資源を生かした 地域アクションプラン (238事業)

第一層 産業分野毎に基幹となる産業を育成 第一次産業を中心とした 産業成長戦略 (279施策)

持続可能な中山間地域の実現 各層の取り組みを連携させ、ステップアップ